

日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会ニュース

発行所：日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会事務局 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学医学部衛生学
公衆衛生学教室 TEL 0263-37-2622 FAX 0263-37-3499 発行責任者：地方会長 野見山 哲生



(早朝の河口湖畔の紅葉 小川力 先生撮影)

巻 頭 言



『第 33 回日本産業衛生学会全国協議会開催に向けて』

第 33 回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会 企画運営委員長

日本産業衛生学会北陸甲信越地方会 山梨県常任理事

山梨県医師会理事

小林 正洋

第 33 回日本産業衛生学会全国協議会は、9 年ぶりに北陸甲信越地方会が担当させていただくことになりました。2014 年に中川秀昭先生が金沢で開催されて以来となります。今回は私が企画運営委員長の重責を仰せつかりましたので、ご案内申し上げます。

会期は 2023 年 10 月 27 日（金）～29 日（日）に山梨県の甲府でメイン会場を YCC 県民文化ホール、サブ会場を県立図書館にて開催します。本会の開催形式は現地開催とオンデマンド配信で行うこととなりました。最新の情報につきましては是非学会のホームページをご覧くださいと存じます。

また幸か不幸か学会の会期が、第 50 回（令和 5 年度）信玄公祭りと重なることになっており、10 月 28 日は交通規制も行われますが、現地参加していただく会員の皆様には宿泊も含め、できる限りご不便のないよう準備させていただき所存です。北陸甲信越地方会の産業医部会、産業保健看護部会、産業歯科保健部会、産業衛生技術部会の先生方のお力添えにより、プログラム（一般演題 104 題を含む）も決定いたしました。改めて御礼申し上げます。

現在、学会の具体的な準備にはいっているところです。今後特に産業看護職の皆様がたにはぜひボランティアとしてご参加いただきこの学会をお支えいただくようあらためてお願い申し上げます。

今回第 33 回日本産業衛生学会全国協議会においては多様化する社会と産業保健というテーマで幅広く議論したいと思います。現代社会の多様化と産業保健というテーマに関連する、少子高齢化、両立支援、新型コロナウイルス感染症（新興感染症）、メンタルヘルス、働き方改革等について、皆様の御活発なご議論、ご討論の場の提供ができれば幸いです。

第66回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会 告知

長野県医師会長 若林 透 先生を学会長として、長野県長野市で開催致します。総会当日は、一般演題発表、シンポジウムを予定しております。また前日の9月16日には実地研修会を開催します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

前日プログラム（実地研修会）

日 時：2023年9月16日（土曜日）14:30～16:30（予定）

会 場：株式会社みすずコーポレーション

（〒380-0928 長野県長野市若里 1606）

安全衛生管理についての概要説明、職場巡視、意見交換

第66回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会

日 時：2023年9月17日（日曜日）10:00～15:30（予定）

会 場：ホテルメトロポリタン長野 3階 浅間C

（長野県長野市南石堂町 1346）

学会長：若林 透（長野県医師会長）

主 催：日本産業衛生学会北陸甲信越地方会

共 催：長野県医師会・日本産業衛生学会北陸甲信越地方会産業医部会・産業保健看護部会

一 般 演 題 10:00～12:10

総 会 12:10～12:40

シンポジウム 13:30～14:30「**困難事例にどう対応するか**—事例とその特徴、法的解釈について—」
事例とその対応

1. 発達障害を有する従業員へのより良い支援と対応
大和田 由希（ミネベアミツミ株式会社軽井沢工場）
2. 高次脳機能障害を有した従業員とその対応
河西 洋子（セイコーエプソン株式会社）
3. パーソナリティ障害が疑われる従業員への対応
今度 悠樹（アイシン軽金属株式会社）

指定発言

1. 困難事例に対する精神医学的解釈
鷲塚 伸介（信州大学医学部精神医学教室）
2. 困難事例に対する対応の法的解釈
織 英子（神田法律事務所）

参加方法

事前登録は、オンライン登録により行います。

9月6日（水）までに登録をお願いします。

オンライン登録が困難な場合は、事務局までご連絡下さい。

登録フォーム URL <https://forms.gle/z2xn37DXAWMoXVdq5>

※第66回地方会は参加募集中です。

※実地研修会の参加応募は定員につき終了しました。

※開催案内の詳細は、地方会ホームページをご覧ください [▶行事案内](#)

問い合わせ先

第66回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会事務局

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室内

TEL 0263-37-2622 FAX 0263-37-3499 Mail jsoh_hk_region@shinshu-u.ac.jp

単位認定

▶実地研修会/シンポジウムへの参加

- ・日医認定産業医制度指定研修会
- ・社会医学系専門医・指導医講習会
- ・日本産業衛生学会
産業保健看護専門家制度研修単位
認定済み研修会

※詳細は地方会ホームページより [▶行事案内](#)

第66回 日本産業衛生学会 北陸甲信越地方会

日 時 | 2023年 **9月17日** 日 10:00～15:30

場 所 | ホテルメトロポリタン長野
〒380-0824 長野県長野市南石堂町 1346

学会長 | 若林 透 長野県医師会長
日本産業衛生学会北陸甲信越地方会
長野県医師会

参加費
学会員：無料
非会員：1,000円
※当日受付にて徴収いたします

プログラム

10:00～11:50 一般演題

11:50～12:20 総会

12:20～13:30 昼食（産業医部会：運営委員会、産業保健看護部会：総会・交流会）

13:30～15:30 シンポジウム（共催：長野県医師会、北陸甲信越地方会産業医部会、産業保健看護部会）

【テーマ】困難事例にどう対応するか—事例とその特徴、法的解釈について—

【主 賓】野見山 哲生（信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室）

【事例とその対応】

- 1) 発達障害を有する従業員へのより良い支援と対応
大和田 由希（ミネベアミツミ株式会社軽井沢工場）
- 2) 高次脳機能障害を有する従業員とその対応
河西 洋子（セイコーエプソン株式会社）
- 3) パーソナリティ障害が疑われる従業員への対応
今度 悠樹（アイシン軽金属株式会社）

【指定発言】

- 1) 困難事例に対する精神医学的解釈
鷲塚 伸介（信州大学医学部精神医学教室）
- 2) 困難事例に対する対応の法的解釈
織 英子（神田法律事務所）

【単位認定】
シンポジウム演題で以下の単位
申請が可能となります。
・日本医師会認定産業医
単位申請中
・社会医学系専門医制度
単位申請予定
・日本産業衛生学会
産業保健看護専門家
単位申請予定

信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室 事務局長：野見山 哲生
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 TEL: 0263-37-2622 FAX: 0263-37-3499



特集：第 33 回日本産業衛生学会全国協議会への想い（実行委員長 丸山 猛士）

実行委員長を拝命いたしました 山梨県 丸山猛士と申します。2023 年 10 月 27 日から 29 日の 3 日間にわたり、YCC 山梨県民文化ホールと山梨県立図書館の 2 会場にて第 33 回日本産業衛生学会全国協議会を開催させていただく事となっております。新型コロナウイルス感染症も 2023 年 5 月 8 日より感染症分類第 5 類に変更となり以前の感染症拡大対策も終了となり、会場の人員制限の解除も行われやっと通常の状態での開催が出来ることとなりました。全国協議会を山梨県で開催することになりましたのは 2022 年のことであり、新型コロナウイルス感染症拡大の真ただ中であり緊急事態宣言が出されさまざまな学会は中止、もしくはオンライン・ハイブリッドでの開催となっております。開催形式について現地開催のみとするべきなのかコロナ禍より普及したオンデマンド・ハイブリッドにて開催するのかどうかどうするかが大きな問題でした。

山梨県での全国規模の学会開催は初めてでもあり、野見山地方会長・塚原先生にご指導をいただき、運営業者との打ち合わせを何度も行っておりましたが、山梨県最大のお祭り「信玄公まつり」と全く同日程となり宿泊施設の確保においても苦慮することになってしまう問題もあり、本当に山梨で開催できるのかと不安でいっぱいでありましたが、現地開催とオンデマンド配信



での開催方法にて開催する事が決まりました。また、北陸甲信越地方会の会員の先生方のご協力もありプログラム内容等も公開できるような状況となりました。まだまだ問題はいろいろありますが何とか開催が可能な状況となっております。あとは 参加人数の目標でありますオンデマンド参加と合わせ 1,600 人としております 1 人でも多くの会員の参加をお願いしたいと思います。また、第 33 回日本産業衛生学会全国協議会が盛会に終わられるよう 一層努力する所存でございます。

北陸甲信越地方会皆様方のご協力、参加をお願いさせていただきます 開催の案内とさせていただきます。

第 33 回日本産業衛生学会全国協議会 運営スタッフ（看護職以外も含む）募集

スタッフ業務の内容は、受付、クローク対応、会場照明・サイドスライド・会場マイクの管理、会場の入れ替え対応等をお願いする予定です。全国協議会ホームページより募集しています。（[ここをクリック▶リンク](#)）

地方会事業から

『石川県産業保健研究会（仮称）プレ企画に参加して』

私は J R 西日本で保健師をしています。今回、石川県産業保健研究会（仮称）発足のためのプレ企画に参加させていただきました。働きやすい職場環境と健康経営の取り組みについて金沢機工の田中様からご報告があり、弊社からは女性の自主グループへの健康支援について報告させていただきました。その後全員で健康経営をテーマとしたグループワークがありました。普段めったに聞くことのできない他社の健康支援

のお話をお聞きできたことや、グループワークでの他社の健康管理に携わる専門職の域を超えた自由な話し合いは大変新鮮で有意義な時間でした。このような場を通じて関係者の連携も深まると思いますし、産業看護職の質の向上にもつながると思います。今回はプレ企画でしたが本企画スタートへのニーズは大きいと感じています。新しく始めることへのハードルが高いとは思いますが、このような企画も関係者が手を取り合って発足でき、末永く続くように皆で協力していければいいのではないかと考えています。

（文責 齊藤 みゆき）

会員の取り組み



『職場の一体感を創る喫煙対策』

小野島 尚子

関西電力株式会社 保健師

1990年代の初め、私が担当する
エリアの男性喫煙率は60%を超え

ていました。当時は、執務室内で喫煙されており、受動喫煙の害が言われ始めた頃です。タバコを吸わない従業員の苦情もあり、新人保健師であった私も「なんとかしなければ」と意気込んだものでした。

私は、タバコと健康に関する健康教育を行い、職場ごとに執務室内の浮遊粉じんを測定し、その結果と受動喫煙防止の必要性を従業員の皆さんに伝えました。その結果、「喫煙者の手による喫煙場所の改善」が行われたのです。喫煙者たちは話し合い、自らの手で執務室の一角をパーティションで囲い、喫煙スペースを作りました。粉じん数を確認しながら、隙間があると言っては、ビニールで塞ぎ、執務室内の粉じん数が減少していく様子に、喫煙者もタバコを吸わない従業員も上司も保健師も皆で大いに盛り上がりました。1つの職場から始まったこの取り組みは他の職場にも広がり、事業所全体としての分煙化（専用喫煙室の設置、執務室の禁煙など）を牽引しました。

近年では、タバコの値上げ、法律の改正、健康経営の浸透などの影響もあり、喫煙率は30%を下回っています。2025年度からは就業時間内の禁煙が会社の方針として決定されています。喫煙対策において環境の整備は有効かつ不可欠なことです。しかし、これまでの30年を振り返ると、一番の感動体験は「喫煙者の手による喫煙場所の改善」で知った職場の一体感です。職場の一体感はワークライフバランス、業績向上、従業員満足度向上に繋がると言われていますので、「喫煙者の手による喫煙場所の改善」のような職場の一体感を創出する産業保健活動は、従業員の健康（例えば、喫煙率）だけでなくQOL（人生の質）向上につながります。社会環境や職場環境の整備に焦点が当てられる現代だからこそ、職場の一体感を創出する「仕事のやり方」にこだわった保健師活動を展開していきたいと考えています。



『研究室の取り組み』

弘田 量二

松本大学大学院健康科学研究科 教授

弘田ゼミでは神奈川県湯河原町の疫学調査や空気環境浄化などを行っております。疫学調査では、働き世代の肥満の男女は飲酒頻度が少ない傾向があることを明らかにしM2倉澤里奈さんが第22回国際栄養学会議で発表しました。空気環境浄化では、「世界最強クラスの」でおなじみの空気清浄機エアドッグを使って、流通倉庫に俟っているダンボール紙粉を減らす取り組み、魚介類の干物の詰め替え作業場のニオイ軽減対策、火葬場の環境改善（厚働科研：代表 武藤剛）に協力しております。栄養の専門家を目指す学生にとって個々人への栄養指導スキルは必須とするところですが、集団としての栄養状態の評価方法（栄養疫学）は苦手な人が多いです。本ゼミでは、湯河原町の住民調査データを横断研究のモデルとして作業仮説の立て方（PECO）やリスクの評価方法（オッズ比）などを学んでいきます。また、臨床検査センター開発部出身の経験を活かし、空気環境浄化技術の評価にも取り組んでおります。空気清浄機にはHEPAフィルター方式や光除菌方式などがありますが、エアドッグは静電集塵方式で、本体で電荷を与えられた塵は反対の電荷を帯びたフィルターを通過する際に捕まえられます。同時に発生したオゾンにより匂いも分解され活性炭フィルターに吸着されます。したがって、ウイルス粒子のようにナノメートルオーダーからペットの毛程度のもので、幅広いサイズの塵を空気中から除去することができます。これは、日常的に連続運転させる必要がある業務の現場において、消耗品代がかからずいつも新品の性能が維持できるメリットがあります。最近、フレイル予防サプリメントの臨床試験（かんでんパパとの共同研究）もはじまりました。

このように、弘田ゼミでは、疫学系、実験系に興味を持った学生に門戸を開いた幅広い視野を持てるゼミで、企業や他の研究室との共同研究に積極的に取り組んでおります。会員の方からの「お困りごと」にも応じますので、ぜひご相談ください。

私たちの職場 『健康保険組合連合会新潟連合会』 共同設置保健師 小坂智恵子

2018 年 10 月より、健康保険組合連合会新潟連合会でお世話になっています。事務局長 1 名、事務員 2 名、保健師 1 名のこぢんまりとした事務所です。2008 年から始まった特定保健指導を契機に共同設置保健師を採用し、私が二人目の保健師です。

新潟県内にある 15 健保組合で保健師を採用しているところは、わずか一カ所のみ。そのため、当連合会の会員である健保組合に対して、特定保健指導の実施率向上やデータヘルス計画の効果的な運用のための支援をしています。

具体的には、特定保健指導の実施が困難な「遠方で該当者が少人数」の事業所に出向いて特定保健指導を行っています。健保組合と事業主が共同で企画する生活習慣病予防セミナーもテーマ選定から関わって講師をしています。2021 年からは重症化予防事業として、受診勧奨基準値を超えた被保険者へ受診勧奨文書を作成する事業も始めました。健保組合に事業主が行う健診の事後措置と連携することを促し、コラボヘルスを進めていくことを狙っています。

前職場（工場の健康管理室）では、労働衛生の五管理のすべてに関与していましたが、現在の業務は労働衛生のごく一部（健康管理と健康教育）に限られています。健保組合は『高齢者の医療の確保に関する法律』に沿って保健事業を展開しています。転職した当初は活動の根拠となる法律が違うことに戸惑いました。加えて健保組合を経由して事業所に関わる立場のため歯がゆい思いをすることもあります。しかし、健保組合の加入事業所の業種は広く、建設業・製造業・情報通信業・運輸業・小売業・金融業・宿泊業・飲食サービス業・医療・福祉で働く人たちにお会いすることができます。それぞれの働き方や職場環境に合わせた保健指導をできるように工夫するのが楽しいです。

2024 年（令和 6 年）から、データヘルス計画が第 3 期に入ります。評価指標が変わり、健保組合が行う保健事業にも「アウトカム」が求められるようになります。まだまだ、健保組合が産業保健の担い手であると認識しているところは少ないのですが、理解を促すことが専門職である私の役目になると思います。



リレー形式で会員の皆様の紹介をつないでいきます！

ファンック（株）健康推進センター 前田 宜包 先生からのご紹介でスタート♪



金沢の中川先生をご紹介します。



次世代のホープとして活躍を期待している一人です。



次号へ

会員 Relay ☆

山縣 然太郎

所属：山梨大学
職種/役職：教授
趣味：ジョギング、ゴルフ

ひとこと：
講座で産業医をしている複数の中小事業所のご協力、新型コロナワクチンの職域接種を行い、少しは役割を果たせたかな。

中川 秀昭

所属：YKK
職種/役職：医師/YKK グループ統括産業医
趣味：読書（安楽椅子に座り片手に本、片手にコーヒーの生活を夢見ます）

ひとこと：大学を退任して 10 年になりますが、徐々に疫学調査を行いました。計画作り、地域との交渉、説明会、実施と、若い頃に戻った気がします。研究者としての充実感を味わいました。けれども今は企業での健康施策や安全衛生の推進。コロナもあり、なかなか難航、頭を抱えています。

西澤 依小

所属：西日本旅客鉄道(株)金沢健康増進センター
職種/役職：医師(産業医)
趣味：スポーツ観戦(主に J2 リーグ)、宇宙・ロケット、気象

ひとこと：近くを見るには老眼鏡が必要となったので、遠くに焦点を移すよう心がけた結果、遠くばかり見る趣味に一層ハマっています。

新入会員紹介



本定 晃

本定医院
福井産業保健総合支援センター 所長

私は今春より福井産業保健総合支援センターの勤務が始まり、同時期に日本産業衛生学会に入会させていただきました。内科の開業医です。専門は高血圧です。1984年に学位（金沢大学大学院）、1993年に産業医、2006年に総合内科専門医を取得しています。医学の進歩は著しく、集積した膨大な知見を整理し、理解していくのに日々奮闘する毎日ですが、一方、産業衛生領域も途方もなく広範囲で、求められるものも著しく多くなっているのが現実です。私は労働衛生の専門家ではないし、産業医の全くの素人でもありません。臨床医と産業医を両立させ、低いヘルスリテラシーを少しでも上げる活動をと考えていますが、根気のいるハードルの高い仕事でもあります。働き方改革における過重労働防止、高ストレス者の面談希望者が少ない点、化学物質管理等、直近の課題が山積していますが、産業保健関係者の皆様との連携を重視し、前に進んで参りたいと考えています。入会を契機に、多方面の御指導御鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

事務局から

理事会報告

○2023年度北陸甲信越地方会常任理事会
下記の通り行われました。

【日時】2023年6月17日（土）

【会場】長野東急 REI ホテル（長野市）

○役員変更のお知らせ

▷石川県常任理事：石崎 昌夫
（金沢医科大学衛生学）

今後の行事案内

○2023年度北陸甲信越地方会 理事会

日時：2023年9月16日（土）

会場：ホテルメトロポリタン長野（長野市）

○第66回北陸甲信越地方会 前日プログラム

日時：2023年9月16日（土）

会場：株式会社みすずコーポレーション

内容：実地研修会

○第66回北陸甲信越地方会 学会・総会

日時：2023年9月17日（日）

会場：ホテルメトロポリタン長野（長野市）

内容：一般演題発表、シンポジウム

○第33回日本産業衛生学会全国協議会

会期：2023年10月27日（金）～29日（日）

お知らせ

○2024年度北陸甲信越地方会研究助成公募

【対象】

・産業医学分野における優れた業績が期待できる研究
または実践活動

・医師以外の地方会所属の会員によるもの

【研究助成】1件につき10万円

【採択件数】1または2件

【応募方法】詳細は地方会ホームページに掲載しております。▷[行事案内](#)

【応募期限】

2024年5月31日（金）

編集後記

この度、北陸甲信越地方会の地方会ニュース第13号を発行することができました。本号では、第33回全国協議会や各県研究会の企画運営を担う皆様の発足に向けた取り組み、また会員の皆様の取り組みをお知らせすることができましたことを喜ばしく思います。発行に際してご協力、ご尽力いただきました先生方へ改めて感謝申し上げます。

今後も地方会員の皆様の活動や取り組みを広報して参りたいと思います。ご意見やご感想などございましたら編集委員までお寄せ頂けると幸いです。

編集委員（五十音順）

編集委員長：森河 裕子

副編集委員長：塚原 照臣

編集委員：池田 裕子、稲寺 秀邦、遠藤 和男、
小坂 智恵子、佐藤 一博、高山 英之、
角田 ひろみ、西澤 依小、松永 康弘、
丸山 猛士

事務局：當房 浩一、水木 将、長谷川 航平